

当社は平成11年度より環境保全活動を開始し、同時に環境会計を導入いたしました。
平成15年度の実績については以下の通りです。

■ 環境保全コスト及び環境保全に係わる効果

①環境保全コスト

（単位：千円）

分類		主な取組の内容	平成15年度 費用額	平成14年度 費用額
(1) 生産・サービス活動により生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト (事業エリア内コスト)	地球環境保全コスト	省エネルギー対策：照明区分け工事等	274	237
	資源循環コスト	廃棄物適正処理のための外部委託費用	19,042	33,776
		廃棄物の分別・保管のための費用（リサイクルボックス購入等）	7,811	3,850
(2) 管理活動における環境保全コスト (管理活動コスト)	ISO14001 審査・登録費用等		1,823	1,571
	環境内部監査に係る費用		11,815	16,345
	環境推進活動費用（人件費）		55,200	45,600
	環境教育に係る費用		8,023	5,983
	その他環境推進活動に係る費用		266	97
(3) 社会活動における環境保全コスト (社会活動コスト)	環境報告書作成等		646	4,140
環境保全コスト 合計			104,900	111,599

②環境保全効果

効果の内容	環境負荷指標	平成14年度	平成13年度
事業エリア内で生じる環境保全効果 (事業エリア内効果)	電力使用量削減（千kwh）	1,941	1,482
	（削減率）	13.6%	10.4%
	紙使用量削減（千枚：A4用紙換算）	12,750	11,932
	（削減率）	24.4%	22.8%

③環境保全対策に伴う経済効果

（単位：千円）

効果の主な内容	平成14年度	平成13年度
省エネルギー活動による費用削減	42,702	32,618
省資源活動による費用削減	191,926	180,572
環境内部教育による費用削減	13,185	9,549
環境保全対策に伴う経済効果 合計	247,813	222,739

- (注) 1 環境保全コストおよび環境保全に係る効果の分類については、「環境会計システムの確立に向けて」（環境庁）の環境会計ガイドラインに基づいております。
 2 環境保全活動として、電力使用量の削減（省エネルギー）および紙使用量の削減（省資源）活動に取り組んでおります。
 3 環境保全効果および経済効果につきましては、基準年度（平成10年度）に対する効果を集計しております。
 4 集計範囲…富士通サポートアンドサービス(株)およびエフサス・クリエ(株)全事業所ならびに富士通ユニティ労働組合
 5 対象期間…平成15年4月1日～平成16年3月31日